

病理診断科、泌尿器科を受診している患者さんへ

当科では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会において、ヘルシンキ宣言の趣旨に添い、人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針等を遵守し、医の倫理に基づいて実施されることが審査され認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。もし、この研究に関するお問い合わせなどありましたら、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。

記

研究課題名	尿路上皮癌における TGF- 発現解析
研究機関名	愛知医科大学病院
研究機関の長	病院長 道勇 学
担当科等	病理診断科
研究責任者	助教 高原大志
研究の意義・目的	炎症を抑制するタンパク質である TGF- の発現は、尿管がんや膀胱がんの微小環境に重要な影響を及ぼします。TGF- の発現を調べることにより、今後の診断、治療戦略を構築する上で重要な情報が得られることが期待されます。
対象となる患者さん	2010年1月～2018年4月において、尿路上皮がんと診断され、腎臓、尿管、膀胱、尿道のいずれかの切除を受けた患者さん。
研究の方法	診断時に作成したホルマリン固定ブロックの余りから、小さなサンプルを採取して、TGF- の RNA の発現を評価します。そのデータと、カルテから収集された臨床情報（予後や採血データなど）と併せて、TGF- 発現の意義を評価します。
研究期間	研究実施承認日 ～ 2025年3月31日
研究に用いる試料・情報	試料：ホルマリン固定ブロック 情報：カルテ記載の各種検査結果、臨床情報
外部への試料・情報の提供	なし
試料・情報の利用又は提供を希望しない場合	本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、2023年4月1日までに下記問い合わせ先まで申し出てください。ただし、試料・情報が個人を識別できる場合のみ対応可能です。
問い合わせ先	愛知医科大学病院 病理診断科 担当者：助教 高原大志 〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1 電話 0561-62-3311（内線 37415）